

【作り方説明書】

フード付きケープの型紙

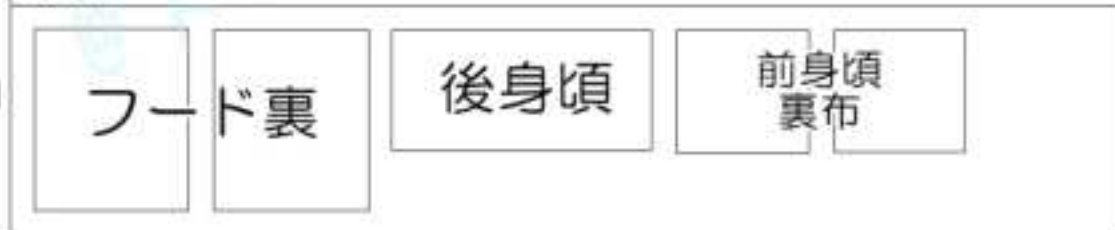
■詳細対応サイズ ・40cm ソフビ	■難易度 【イージー】/ノーマル/ハード/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地 of 厚み 0.32mm-0.92mm	■用意するもの ・やや薄手～普通生地 ・リボン
■手縫い可否 OK	■布に書き写すパーツリスト ①②フード1 2枚→左右反転して2枚 ③④フード2 2枚→ // ⑤⑥前身頃 表布 2枚→ // ⑦⑧ 裏布 2枚→ // ⑨⑩フード裏 2枚→ // ⑪後身頃 表布 1枚→そのまま1枚 ⑫ 裏布 1枚→ // ⑬⑭⑮⑯みみ(どれか一種類) 4枚→そのまま4枚 合計：16枚 のパーツで構成

■必要な布量参考数値

【フード付きケープの型紙 40cm】

横90cm, 110cm, 140cm

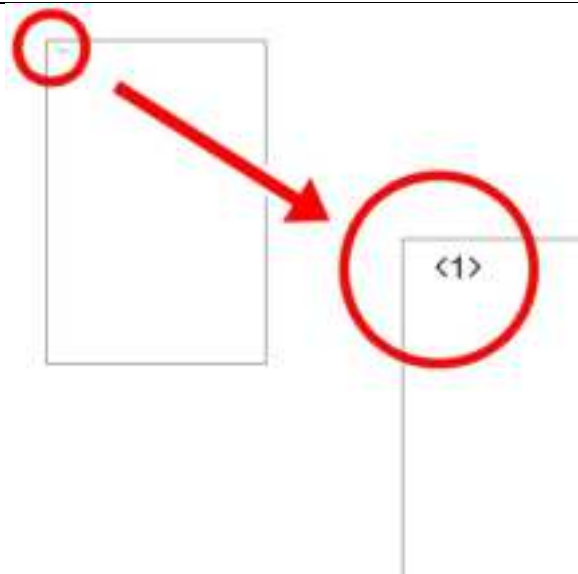
縦30cm

縦18cm
*別布

01. 型紙を貼り合わせる

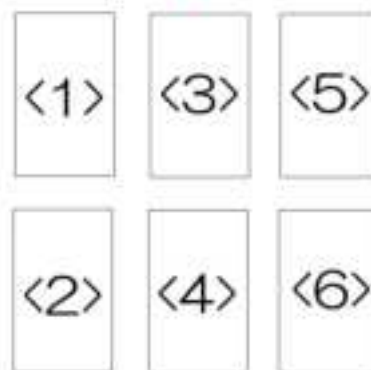
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

（番号は型紙の左上に記載
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。）

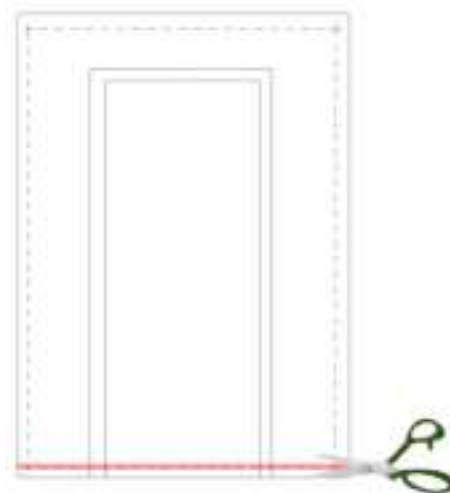


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

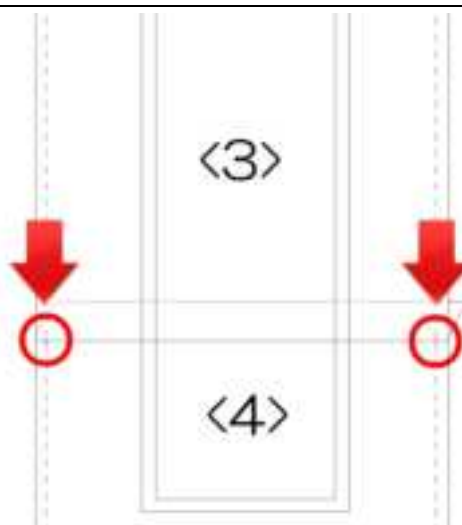
（「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。）



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

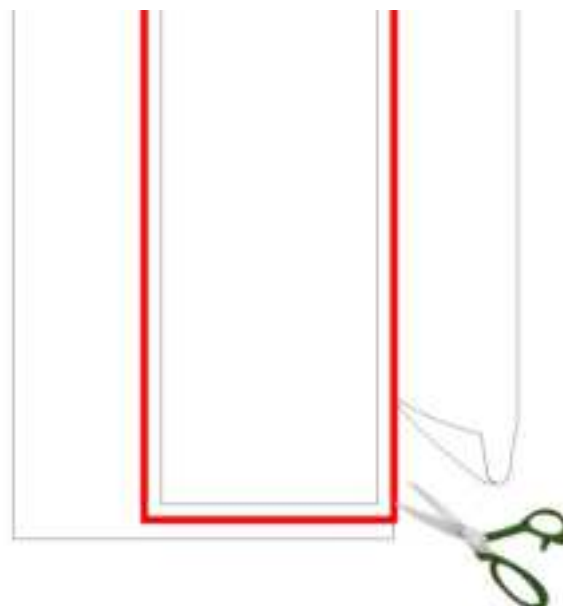


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



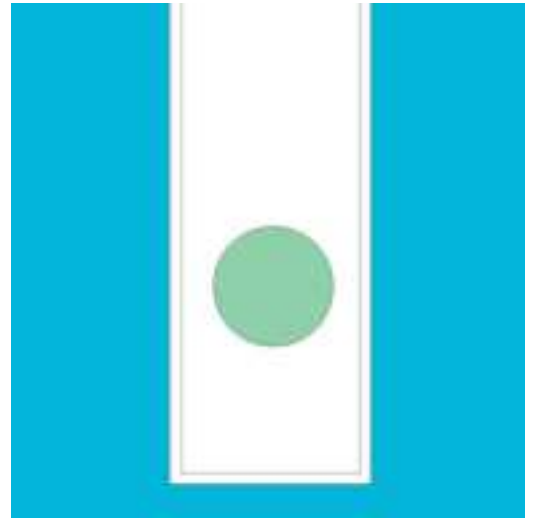
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



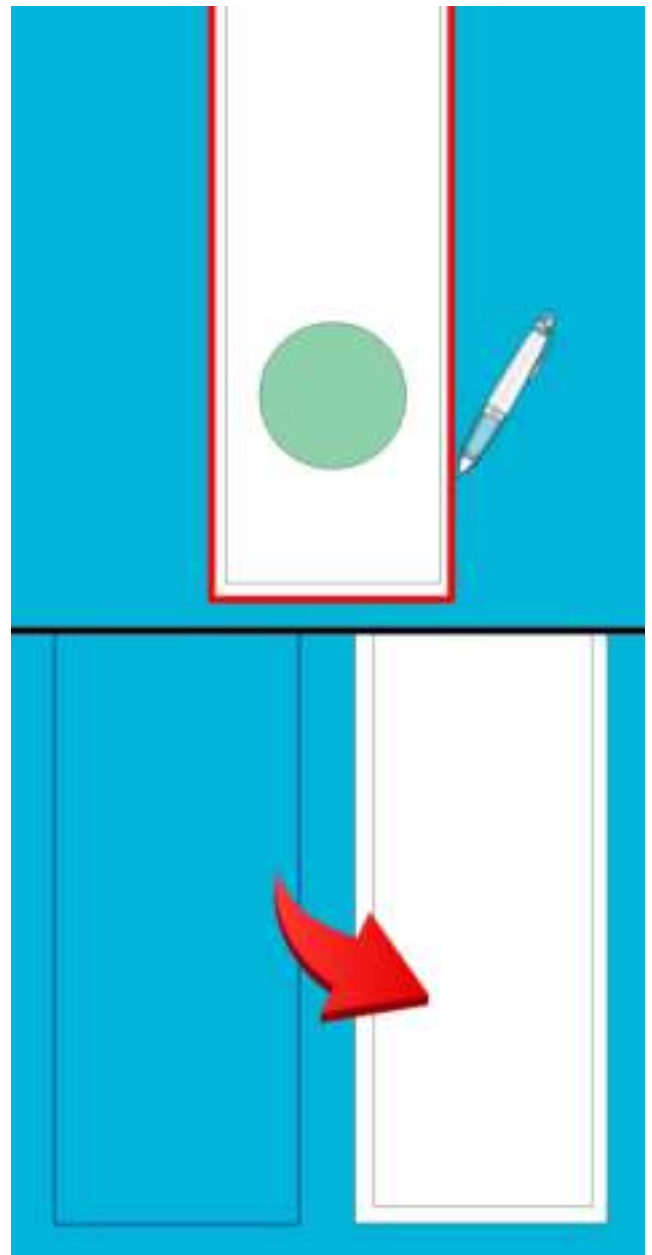
03. 布を裏にして型紙を置く。

- まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。

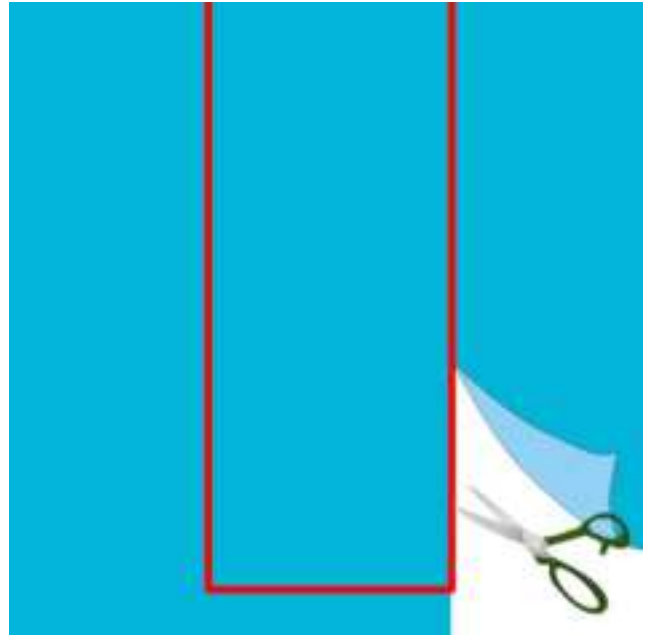


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
 - ・カリスマシャープペンシル(使用中)
 - ・クロバー 水性チャコペン

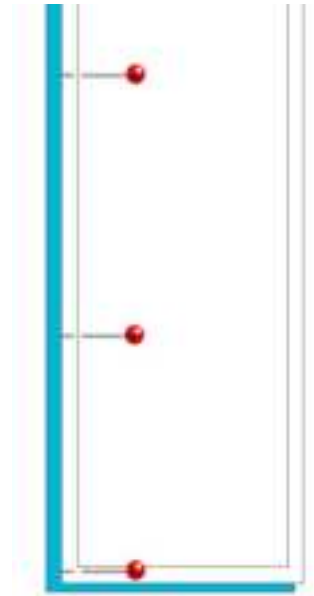


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

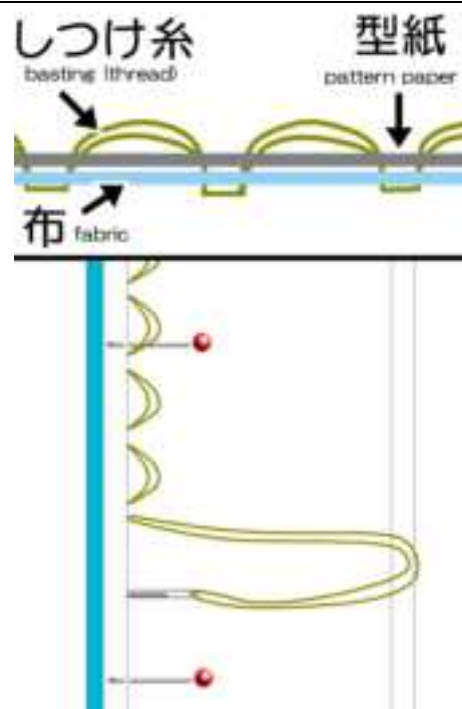
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

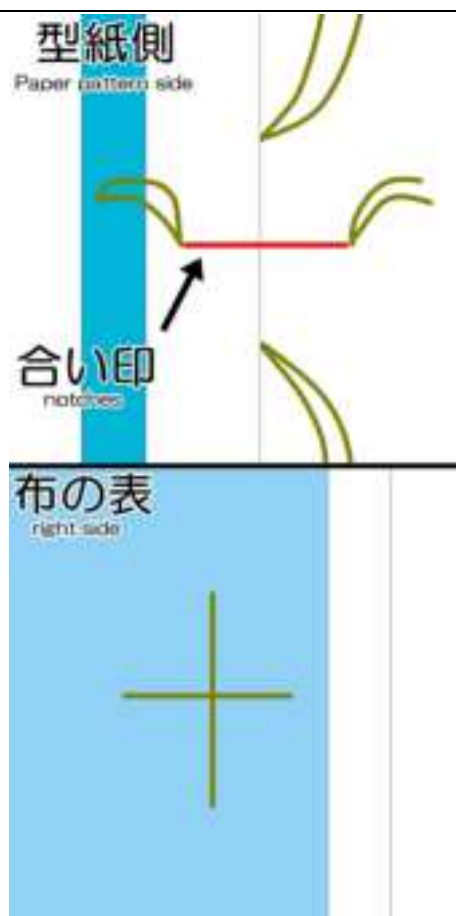
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

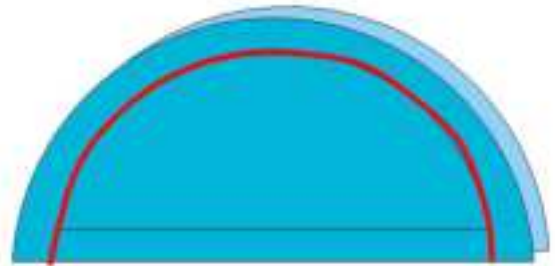
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。

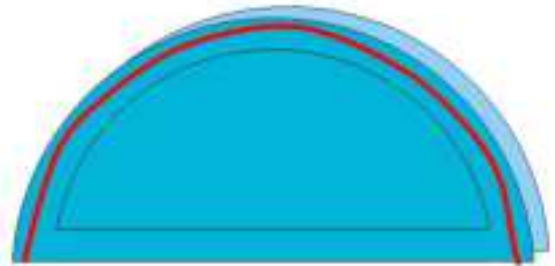


08. 表が内側になるように、耳部分を合わせて縫う。
〔 もう一枚も同じように縫う。



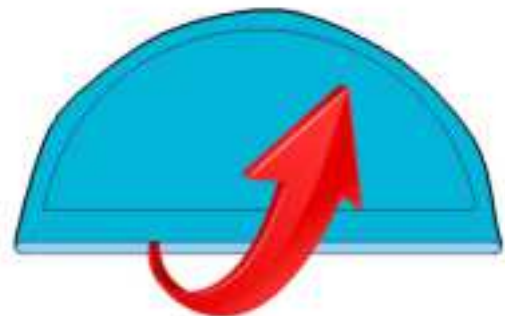
09. 縫い代を 3mm くらいまでカットする。

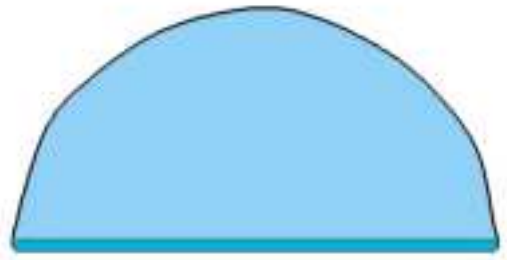
〔 出来上がり線に近すぎると、
解れる可能性があるので注意。
もう一枚も同じように縫う。



10. 表に返し整える。

〔 もう一枚も同じように整える。





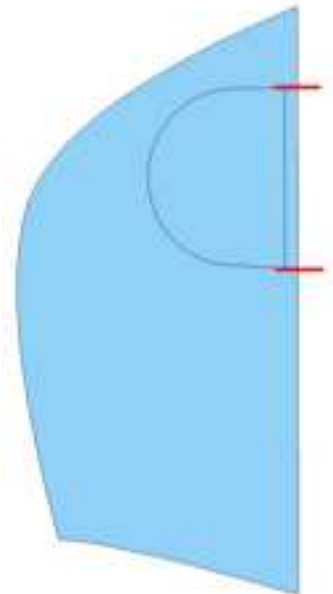
11. アイロンをかける。

〔もう一枚も同じようにアイロンをかける。〕



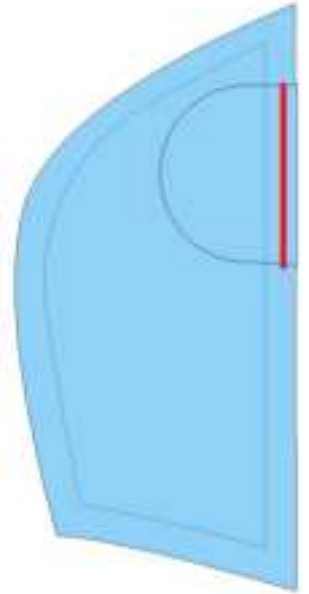
12. 表が内側になるように、

フード1の”耳パーツ付け位置”に耳パーツを合わせる。



13. 仮縫いをする。

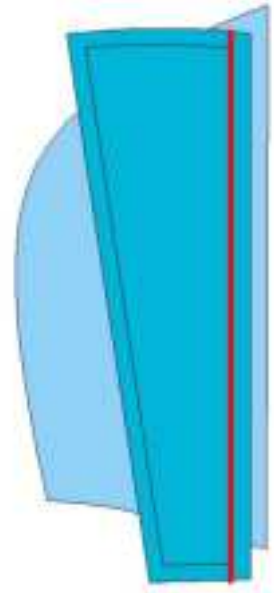
〔 出来上がり線より、縫い代側を縫う。〕



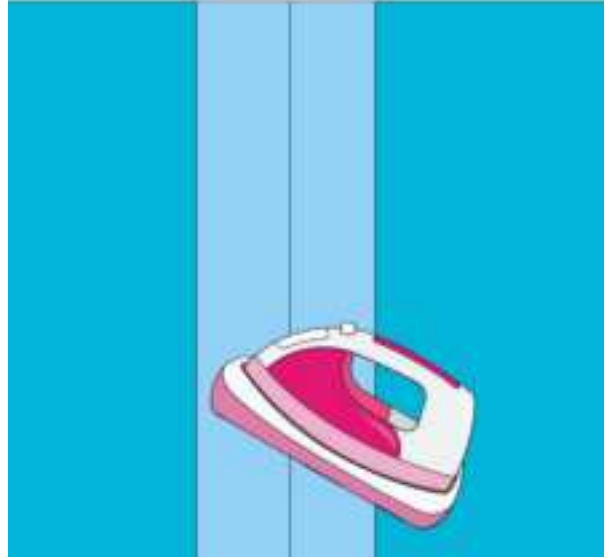
14. 表が内側になるように、

フード1とフード2を合わせて縫う。

〔 フード2は上下を間違え易いので、
”耳パーツ付け位置”を目印に合わせると間違えにくい。〕

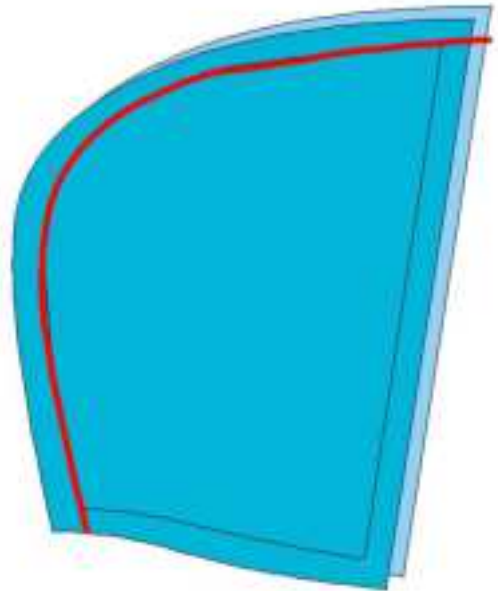


15. 縫い代を開いて、アイロンをかける。

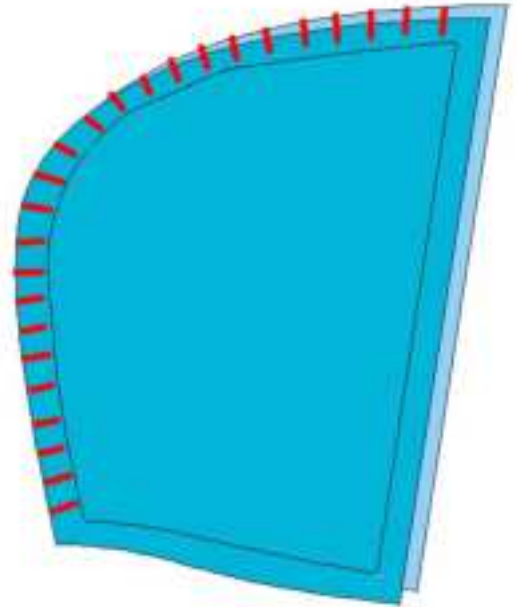


16. 反対側(12~15)も同じように作る。

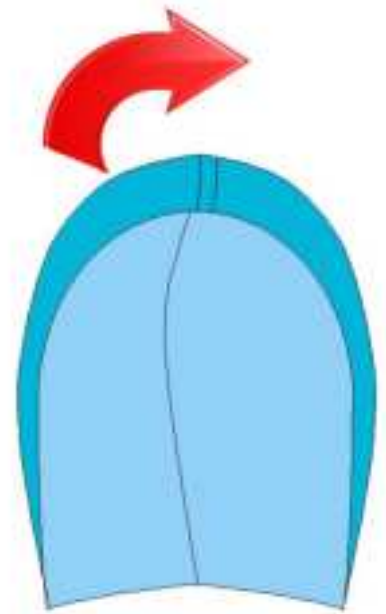
17. 表が内側になるように、フードを合わせて縫う。



18. 縫い代に切り込みを入れる。



19. 縫い代を2枚一緒に向かって右に倒して、アイロンをかける。

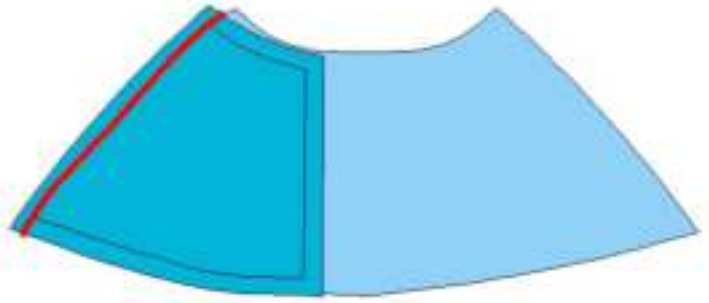


正面から見た時
View from the front

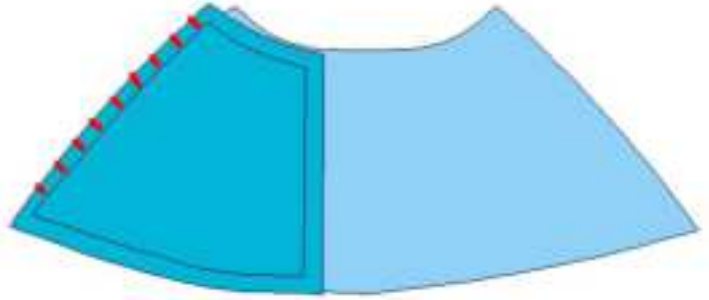
フード左側
Left side hood

フード右側
Right side hood

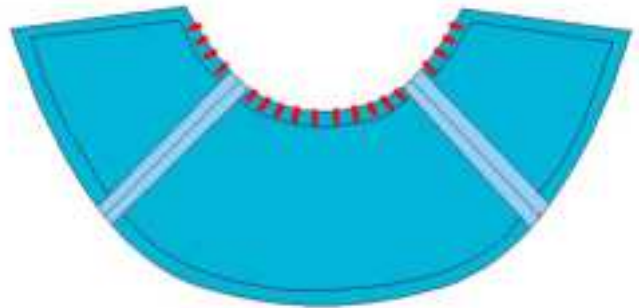
20. 表が内側になるように、
前身頃と後身頃を合わせて縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



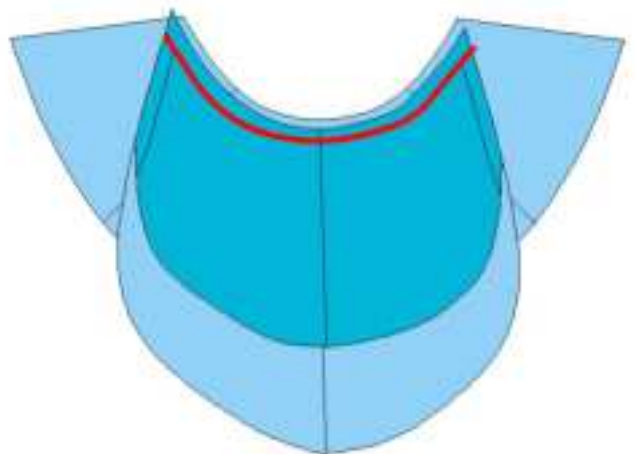
21. 縫い代に切り込みを入れる。
〔 反対側も同じように縫う。〕



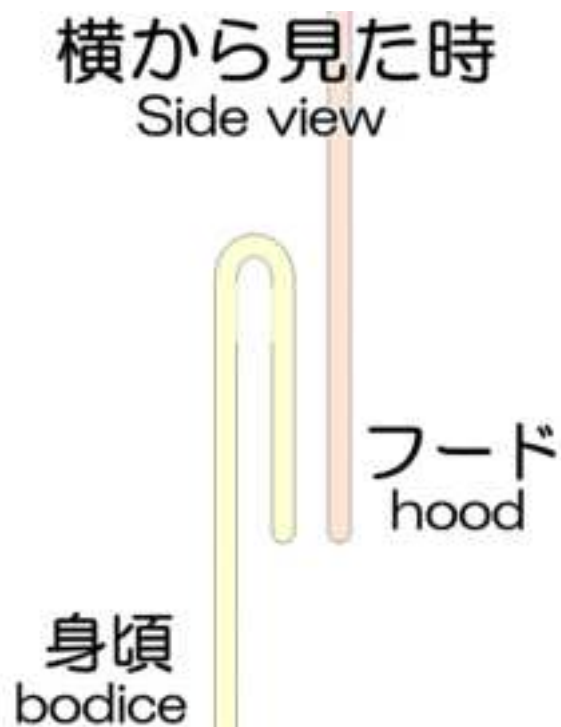
22. 縫い代を開いてアイロンをかける。
23. 襟ぐりの縫い代に切り込みを入れる。



24. 表が内側になるように、
身頃とフードを合わせて縫う。
〔 身頃とフードの SNP、CB という表記を合わせる。
SNP: サイドネックポイント。肩の首の付け根。
CB: センターバック。後身頃の中心。〕



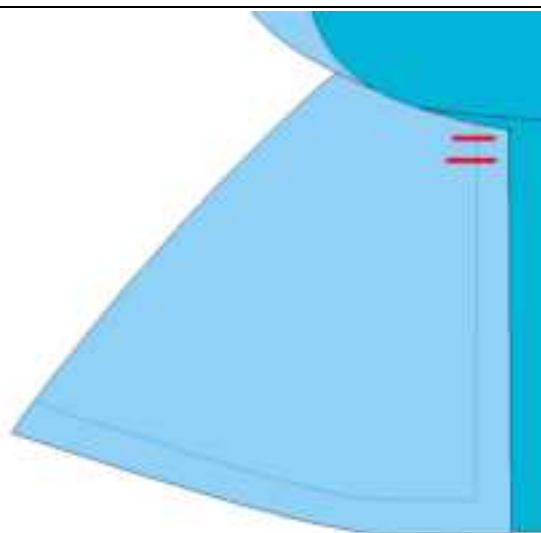
25. 縫い代を2枚一緒に身頃側に倒して、アイロンをかける。

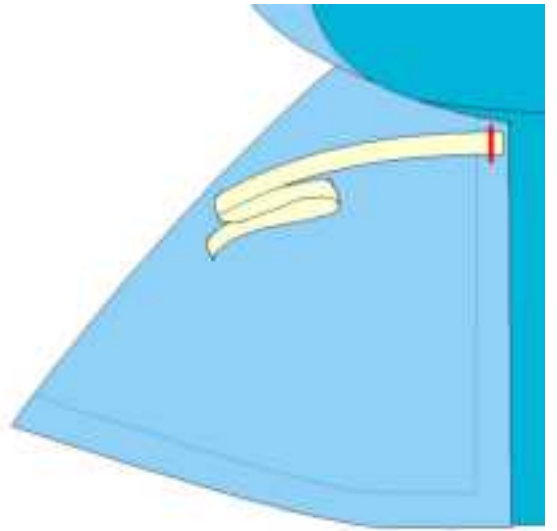


26. 裏布も同じように縫う。

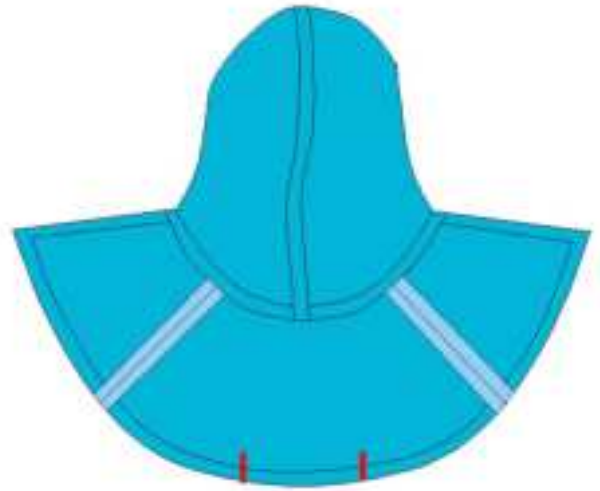
27. "リボン付け位置"にリボンを仮止めする。

- 表布にリボンを表にして合わせる。
- 反対側も同じように仮止めする。



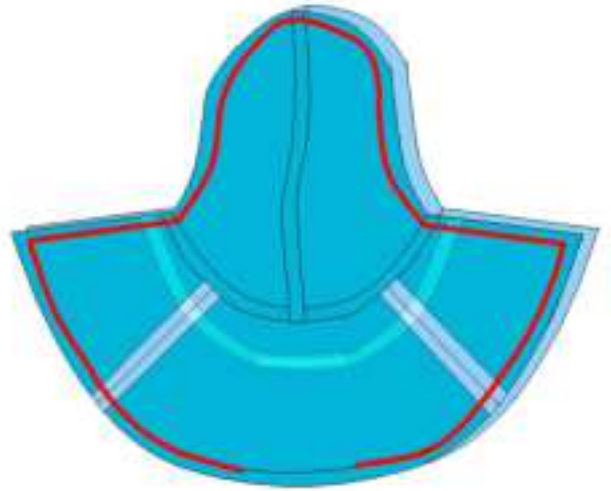


28. 裾の”開き”を折ってアイロンをかける。

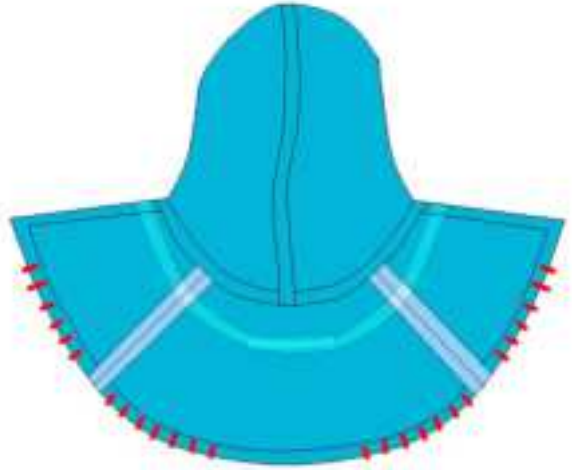


29. 表が内側になるように、表布と裏布を合わせて縫う。

- 〔 裾の”開き”は縫わない。
- リボンは内側に入れて、リボンの先や途中を縫わない様に注意。

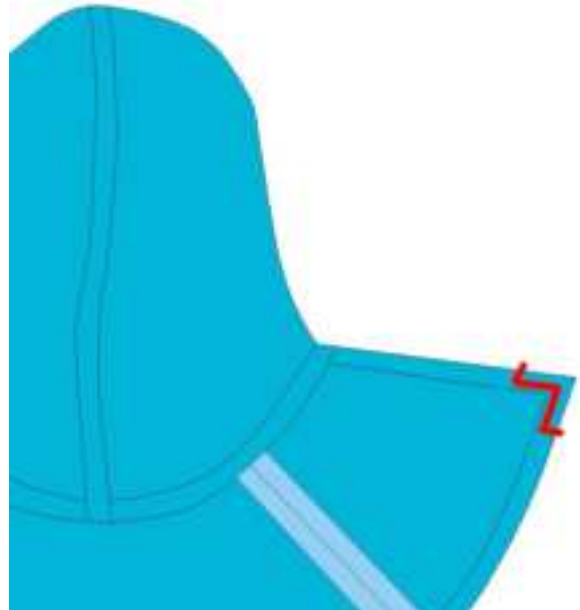


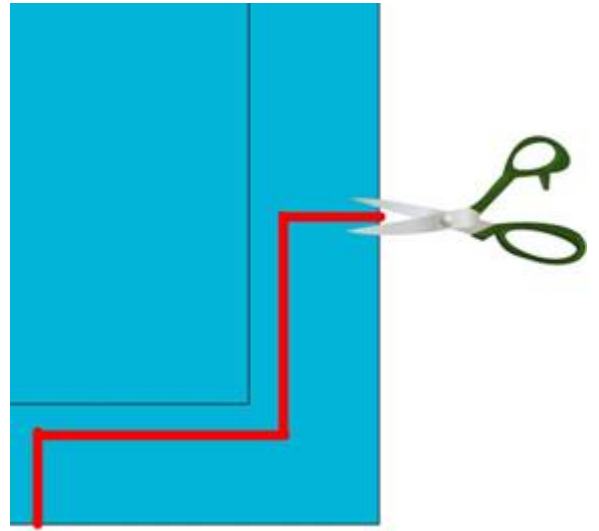
30. 裾に切り込みを入れる。



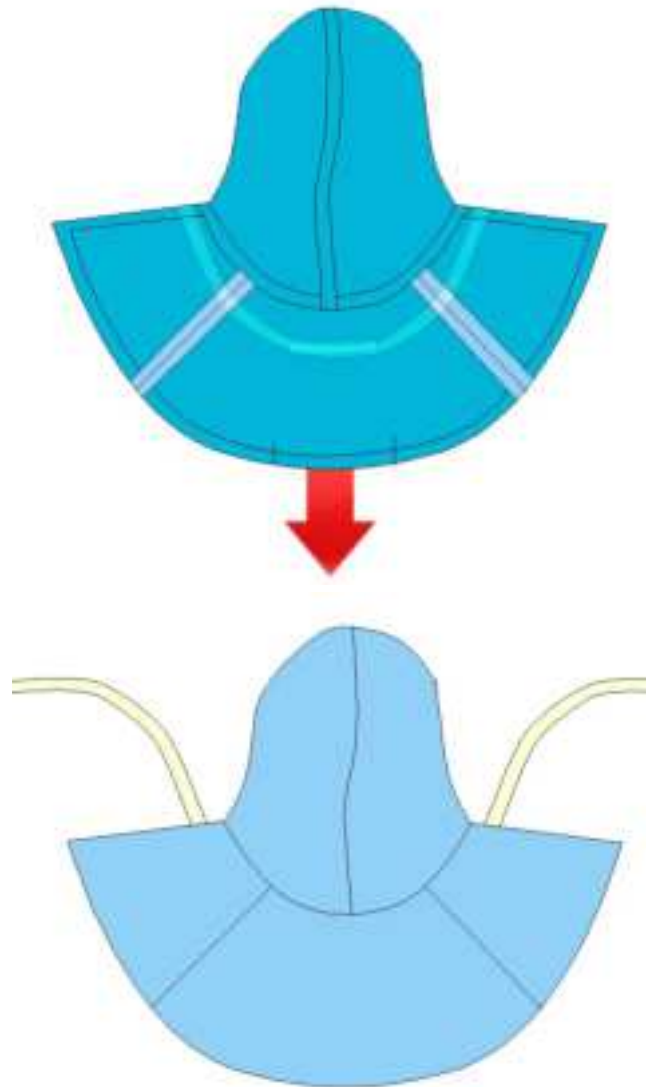
31. 前身頃の角をカットする。

- 〔 反対側も同じようにカットする。





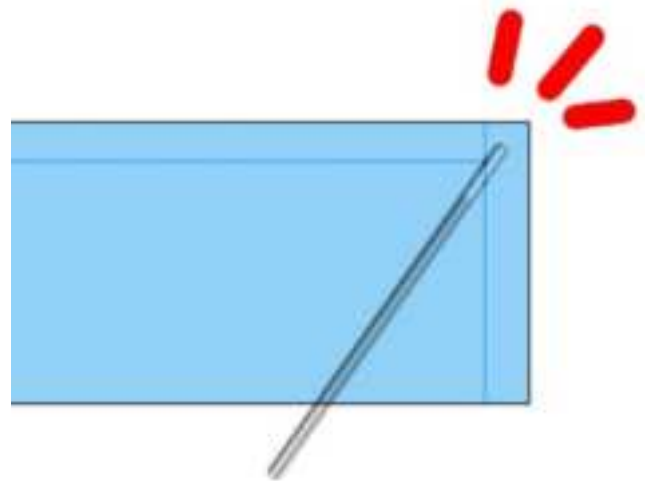
32. "開き"から表にひっくり返す。



33. 太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

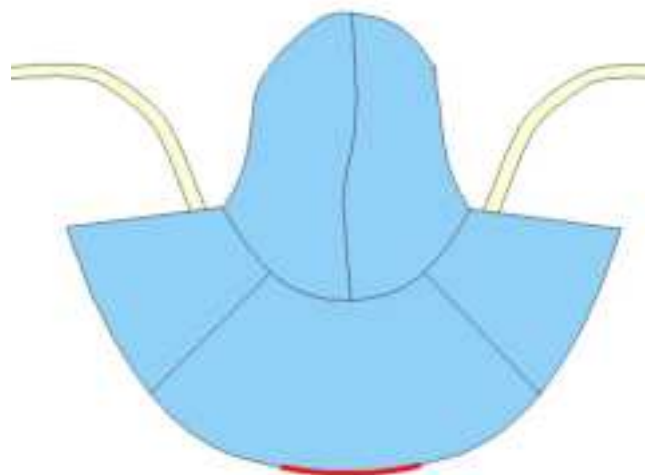
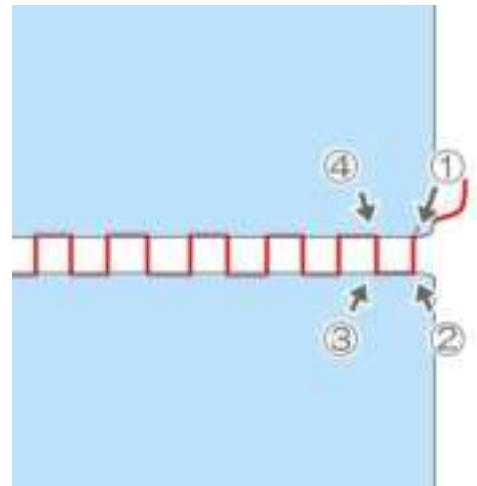
布団等の太い針を使う。

ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”
などでも代用出来る。
あくまでも優しく内側から押して角を出す。
強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると
貫通し布が傷む可能性も。

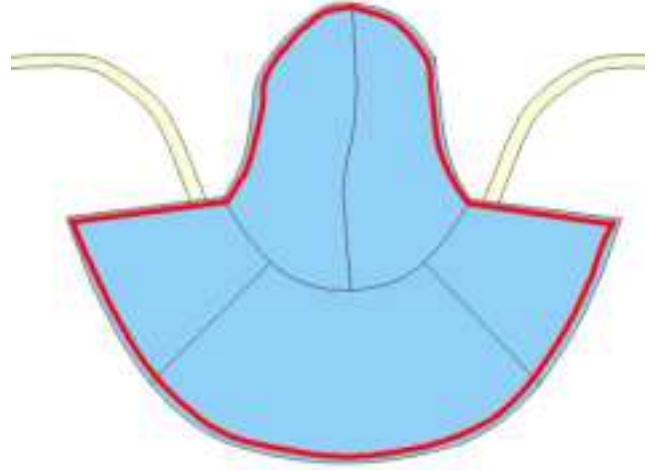


34. 裾の開きを”はしごかがり”でとじる。

① 布の裏側から針を刺す。
② 反対側に針を刺し、布を4mm 程すくう。
③ ②ですくった先から針を出す。
④ 反対側に針を刺す。
⑤ ①～④を繰り返す。
針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが
違う等のトラブルが起き辛い。



35. 縁を一周縫う。



お疲れ様でした！